

トレーに収納されたデバイスを トレーに入ったままハンドリングし レーザーマーキングする装置です。
 トレー内にデバイスを保持し トレーをハンドリングするため ジャムの少ない 安定してマークすることができます。
 従来 トレーポケット内でのデバイスの位置ばらつきが マーク精度を左右してきましたが 各デバイスの位置 傾きを
 画像処理でフィードバックしてマークするため マーク位置精度が格段に改善されました。
 マーク済みデバイスへの追加マークも可能です。
 最終工程でのマークが簡単にできることから マーク品位の高い状態で 出荷できます。

**** ここで言う トレー とは JEDECトレーのような プラスティック多段積み上げ式の トレー です。



写真の設備は ステンレスカバー
 標準は塗装品カバーです

機種構成
 MK609-Standard

トレー内デバイスの位置を確認して マークする スタンダード機。
 マーキングエリアは 位置確認用 画像エリア で決まります。 60mm*80mm
 トレー内のデバイスの位置ばらつきを 画像で捕え 位置補正して マークします。
高精度マークが可能となります。
 処理能力実績 UPH 5000個
 条件 126デバイス/1トレー マーク時間 300msec/1デバイス

MK609-High speed

マークポジション以外でデバイス有無 方向 を判断
 発振器能力で マークエリアが決まります。マーク位置補正はありません。
 トレーポケット内のデバイスの位置のばらつきがそのまま マークのずれとります。
 トレーポケットの精度がよく マーク位置の許容の大きなものについては
 マーキングエリアを 大きく取れるので 発振器のマークエリア能力を
 最大限生かせ **処理能力の高い設備です。**

処理能力実績 UPH 8000~10000個
 条件 144デバイス/1トレー マーク時間 200msec/1デバイス

MK609-with Reject Sorting

上記2種に 最終画像処理・・・マーク確認で NGとなったデバイスを
 別のトレーに収納し 排出する機能を付加した装置です。

不良デバイスの排出機能のない機械では 画像処理で不良発生した時 トレー内デバイスのNG品位置を
 ディスプレーで表示します。
 バーコードを使用した 品種設定入力にも対応します。また、工場の集中管理など 対応可能です。

デバイス厚み変化に対応するため 発振器取付け部は Z軸移動する機能も選択できます。

